ふくろう新聞

＜発　行＞
特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷
広報委員会
洲本市中川原町
中川原28番地1
TEL：0799-25-8550
FAX：0799-25-8551

雨の中　笑顔いっぱい　ふくろう祭り

▲ 桃太郎！見事に鬼退治！

入所者の舞台発表「桃太郎」

去る10月26日（日）に第3回ふくろうふれ愛まつりが開催されました。

あいにくの雨天にも関わらず、地元中川原の方々はもちろん、島外の神戸・三田・小野・豊岡や東京からも参加してくださり、約900人のお客様がふくろうに来ていただきました。

志知高校和太鼓部「翔」によるオープニングに始まり、式典、アトラクションが行われました。

舞台発表の目玉は、何と言っても入所者による手話劇「桃太郎」。この日のために練習を重ねてきました。

入所者は元気いっぱい演技し、会場からは盛んに拍手と歓声があがっていました。

第2駐車場では模擬店が雨にも負けず頑張って販売していました。

淡路島では有名な池田のピンス焼き、そばめし、カレー、おでん、フランクフルト、占い、盲ろう触手話体験など、さまざまな26店もの出店がありました。

また地域交流スペースでは文化展で入所者の書道講座での作品や短期利用者・相良理氏の絵画展、南瓜の重さナンボ？クイズが行われました。

クイズでは答えの重さに近かった3名に賞品が当たり、喜んでおられました。

入所者のみなさんは、ボランティアの協力により舞台観賞、模擬店めぐりなどを楽しんでおられました。

大きな怪我もなく無事終了する事ができました。

ふくろうふれ愛まつりに来ていただいた皆様ありがとうございました。

（実行委員会事務局長：足立）

▲ カボチャの重さは？

▲ 桃太郎を演じた黒崎さん

主人公桃太郎を演じた黒崎さんから感想をいただきました。

「以前から手話劇をしたいと思っていたので3年目で手話劇をすることができて嬉しいです。

ふくろうの郷では初めてなのでうまくできませんでしたが、この経験を活かして来年はもっと良い手話劇をしたいと思います。」

▲ 模擬店にはたくさんの人だかり

▲ 文化展では入所者の作品がズラリ

お知らせ

来年2009年度のふくろうカレンダーができあがりました。入所者が描いたふくろうとかかしのイラストや、絵でやさしく手話を説明しています。定価500円です。是非お求めください！

第3回 ふくろうふれ愛まつり

祭りの最後は小雨の降るなか、大矢施設長もいっしょになって「阿波踊り」をおどりました。

▲ 神戸聴覚特別支援学校の皆様による「クンパダ・プンムル隊」

ふくろうの郷が野菜を使ってくれるので、地元の野菜生産者が「ふくろうの郷の野菜を頑張って作らないといけない」と言って、皆生きがいを感じています。
また、新しい品種や珍しい野菜も作ってみようか？という人もいますので、できたらまた持参します。
（市原青空会　平野さん）

▲ 新鮮な野菜がいっぱいです。

▲ 手話で挨拶する柳洲本市長

（Q:入所者と接してみて）
それぞれきっちり向き合えば、お話しできる、笑い合えると思いました。
もし、ろうあ者がいても、遠慮することなく自分から話しかけたいと思います。

▲ ボランティアに来てくれた高校生。

（Q:入所者と接してみて）
ひとりひとりのことを理解して向き合いたいと思います。
卒業後は福祉関係の仕事に進みたいと思います。

▼ゆめの鈴の皆様による「中川原おどり」

今回もがんばって完走しました。
盲ろうの奥井大さん

▲ 舞台の演目を書いてくださった
左から佐藤先生、辛嶌さん、高橋さん

去年に引き続き、今年も参加させていただきました。
雨でやりにくかったけど、みんなで一致団結して演奏できたと思います。
高齢の方に対しての演奏は、太鼓の音がうるさくてびっくりするかと思いましたが、交流も出来て、入所者さんを元気付けられたと思います。
来年もよろしくお願いします。

練習時間が短かったけど、先生方や皆さんに助けられて、雨で残念だったけど、上手にできてよかったです。

初めて参加しました。
すごくたくさんの人で盛り上がって、すばらしい祭りだと思います。
子供達も楽しみに待っていました。
いつも以上に頑張って歌や踊りができたと思います。
ありがとうございました。

▲ 一輪車の演技を披露してくれた中川原小学校のみなさん。

▲ 歌とおどりを披露してくれた中川原保育所のみなさん。

▲ 志知高校和太鼓部“翔”のみなさんによる迫力の演奏。

ありがとうございました。

11月 おたん生日おめでとう

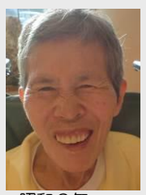
谷　信義　さん(76)
昭和7年
11月29日

芳本　茂　さん(84)
大正13年
11月26日

堀越　フミ子　さん(74)
昭和9年
11月21日

岩瀬　幾次郎　さん(80)
昭和3年
11月21日

先山　君子　さん(96)
大正元年
11月19日



内田　朝哉　さん(77)
昭和6年
11月12日

坂口　きぬゑ　さん(94)
大正3年
11月9日

藤本　紀代　さん(68)
昭和15年
11月8日

宮本　いまの　さん(95)
大正2年
11月3日

利用者交流会参加

▲楽しい交流のひととき

10月21、22日と大阪で開催された「全国高齢聴覚障害者施設利用者交流会」に入所者11名と一緒に参加してきました。

ＵＳＪのすぐ近くのホテルに宿泊、1日目はさっそく観光にくり出しました。

お土産を買ったり、記念撮影をしたりとみなさん大忙し。

晩は他の施設利用者の方達と食事をしながら、名刺交換や、ゲームをしたり、楽しいひとときを過ごされました。

2日目は、昼食を兼ねて最後の交流会へ。

作業で作ったふくろうバッチや小物入れ、おはし入れなどもたくさん売れました！

帰りは羽曳野にある「あすくの里」の施設見学をして、入所者の方達と「たこ焼き」を作って食べたり、施設を案内してもらったりして、みなさん楽しそうでした。

あっという間の2日間でしたが入所者のみなさんのパワフルな姿には本当に驚かされました。

来年はふくろうの郷で交流会の開催です。

来年もまた入所者の方達のステキな笑顔にたくさん出会えるような交流会にしたいです。

（介護：高田佳代）

2007年度事業報告

昨年度1年間の法人経営と介護実践の報告書です。是非読んでくださいね。

厚労省へ介護保険制度の改善及び人材確保に関する要望書を提出

10月に厚生労働省老健局に介護保険制度改善につながる要望書を全国高齢聴覚障害者福祉施設協議会として提出しました。

コミュニケーション支援をはじめ、高齢聴覚障害者のニーズと支援特性に応じた介護と生活支援が実現できるよう理解と協力を要望として提出しています。

また、人材確保の面では職員の増員や賃金の引き上げを要求しています。

ふくろう学習会

10月11日(土)の第3回ふくろう学習会は社会福祉法人きらくえん理事長の市川禮子さんをお招きし「ノーマライゼーションをめざして」というテーマでお話いただきました。

きらくえんは①人権を守る（尊厳を守る、プライバシー保持、市民的自由・社会参加）②民主的運営（入所者自治会・家族会の活動、ボランティアの支援、保育所・学校との交流）を運営方針としており、地域へのギャラリーの解放、居酒屋での入所者と地域との交流、95歳でピアノコンサートを開いた入所者、また一方で職員のあり方、専門性のお話など非常に多岐にわたった興味深い講演内容となりました。

現在、福祉の世界は非常に厳しい状況下にはありますが、高齢になっても、また認知症になっても人権が尊重され、暮らしやすい場所、地域作りを目指すきらくえん、それを見習いふくろうの郷でも様々な取り組みを行なえればと思います。

（相談：濱田）

ふくろう喫茶よりお知らせ

ふくろう喫茶でふくろうの仲間たちと一緒に楽しい時間を過ごしませんか。

◆開催日時：12 月 14 日(日)
13:00～15:00

メニュー

・コーヒー・紅茶・ホットカルピス･･･１杯￥２００
【冬季限定】生姜湯・あめゆ　･･･１杯￥１００
【12 月のみ】ココア　･･･１杯￥２００
・お菓子　･･･１個￥１００

毎月１回開きますので、ぜひお越し下さい。開催日は、１月 25 日(日)、２月８日(日)、３月 22 日(日)です。

※喫茶のボランティアを募集しています。ご協力、お願い致します。　（介護：湯野）

淡路ふくろうの郷 2009 年度 職員募集中！

一般正規職員
募集職種：介護職・看護職・総務職
給与待遇：当法人規定による
採　用　日：２００９年４月１日
応募資格：年齢概ね３５歳まで、有資格者優遇
　社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、
　ホームヘルパー、手話通訳士、看護師、准看護師など
選考方法：書類（履歴書、小論文「ふくろうの郷で私のめざすのもの」1000 字以内）
締　　切：２００８年１１月２２日必着
第一次試験　２００８年１１月３０日（日）一般教養・専門知識
第二次試験　２００８年１２月２０日（土）面接
決定通知は１２月末日、本人宛郵送で通知